

多彩な情報、使いやすく

環境運転、クラウドで支援

トランスストロン

富士通グループのトランスストロン（本社・横浜市、大岡信一社長）は、ネット

ワーク型デジタルタコグラフ（運行記録計）で利用できる多彩な運行支援サービスを展開している。車載器で取得する多くの情報を効果的に活用できるよう、定期的にユーザーの声を反映

したサービスを開発。クラウドシステムの強みを生かし、導入時の作業やコスト負担をかけることなく、安全と環境を支援する。同社は現在、「DTS・D1」シリーズを販売中。リアルタイムに運行管理を行う機能をさらに使いやすくするとともに、安全運転を支援する機能を拡充。特にドライブレコーダー機能を強化し、手軽に動画を点呼や安全教育に活用できる仕組みを整備した。

また新機種の発売に合わせ、クラウド型運行管理支援サービスを「ITP・Web Service V2」に刷新。完全ウェブ化により、タブレット端末での運行情報確認も可能で、必要な時に必要な情報をどこからでも取得できる。

システムを使い、多彩な運行支援サービスを受けられる点も特長。取得情報をより便利に安心して活用してもらうため、同社は定期的にレベルアップを実施し、新サービスも次々と提供している。これまでもドライバーと運行管理者が会話できる音声通話オプション、ビッグデータ技術を用いた急ブレーキ多発マップなどユーザーの声と最新技術を組み合わせた機能を提供してきた。

事故と燃費削減の両立では同じくビッグデータ技術を用いた「エコアンドセイフティ」全国運転ランキングオプションがある。同サービスはE&S指数という一律の指標で、いかに滑らかな速度変化で省エネ運転ができていのかを見える化。ドライバーの実際の運転から理想的な速度グラフを作り、実走行で起きた急加速・減速との差を数値化し評価する。

より細かな運転指導が可能

LTE通信とクラウド

ネットワーク型デジタルタコを発売以来、ユーザーの声を反映した新サービスを次々提供している



自社で設定した値を基に減点方式で採点するデジタル4640。（小林 孝博）

「エコアンドセイフティ」全国運転ランキングの1車両当たりの月額利用料は、三百円（税別）。問い合わせ先は情報サービス営業部、電話045(476)4640。（小林 孝博）